

津軽遺産沢田神明宮

神明宮

宮柱太しく立てて岩屋堂に

動きなき世を守る神垣

菅江真澄

菅江真澄（一七五〇―一八二九）の紀行「つがるのおち」にも、いつの時代に祀られたものか分からないとあり、その起源は不明である。

祭神は天照皇太御神、祭日は四月十六日七月十六日とあり、村の造営に成る。

（明治四年藩内大小神社調べ）

特に神明宮のろうそく祭りは、旧小正月十五日晩の行事として行なわれ、沢田部落の各家庭では、売っている最大級のろうそくを準備して、社殿のほら穴に灯し、家内安全、五穀の豊作を祈願するもので、雪の奥山の岩屋堂に灯りがゆらめくさまは神秘あふれている。

作品番号：29506190

作品タイトル：沢田神明宮

作家：田中 正秋

キャプション：

コレクション：OPO

ソース：

撮影地：青森県 弘前市

撮影年月日：2013/11/05

学術名：

クレジット表記：(c)OPO / Artefactory

モデルリリース：なし

プロパティリリース：なし

ピクセル数：5957px × 3976px

印刷サイズ：43.2cm × 28.9cm

データサイズ：11.4MByte

ファイル形式：JPEG